

## 高校生のための東京大学オープンキャンパス 2015

### 東京大学史料編纂所

史料編纂所(しりょう へんさんじょ)は、日本の古代から明治維新までの史料の研究と、史料集の編纂をおこなっている日本で唯一の歴史学の研究所です。その淵源は、1793年に国学者の塙保己一(はなわ・ほきいち)が江戸幕府の援助を受けて開設した和学講談所までさかのぼります。

1901(明治34)年に史料集の刊行が開始されて以来、110年ほどの間に、『大日本史料』・『大日本古文書』・『大日本古記録』・『大日本近世史料』・『日本関係海外史料』・『花押かがみ』・『日本荘園絵図聚影』など、刊行された史料集は、総計1000冊を超え、国内外の日本史研究者に活用されています。

## 画像史料の研究と史料集

～ 屏風絵・絵巻・古写真から歴史の舞台が甦る! ～

～三二特集「大坂の陣」～

近年研究の進展が目覚ましい画像史料の模写や写真パネルを展示するとともに、史料編纂所が刊行する史料集や近年刊行された編著を展示し、史料編纂所の仕事を紹介します!

- ◎大坂の陣を描いたとされる「最上屏風」(大坂夏陣図)の模本
- ◎明治40年(1907)に辻善之助が撮影した大坂の陣関係史跡写真(複製パネル)
- ◎大迫力!オーストリアで発見された幕末・明治の古写真(複製パネル)
- ◎中国に残る絵巻との比較研究が進む『倭寇図巻』(複製パネル)
- ◎史料編纂所が現在刊行中の史料集 などなど。

**【開催日時】: 8月5日(水) 10:00~17:00**

**【開催場所】: 東京大学史料編纂所 1階**

**(事前の申し込みは必要ありません。ご自由にご覧ください)**



模本 大坂夏陣図(部分)



辻善之助撮影 真田山